



General Assembly Instruction Manual

「BasicNE」

組立の手引き Ver2.00

【はじめに】

この度は「BasicNE」をお買い求め頂き、誠に有難うございます。
本製品はLUBICフレームで「アセンブリパーツ検査台」を作るキットですが、不要になった時に解体して別なグッズに組み替えることができるリサイクル機能が特徴のひとつです。

*関連製品は以下のサイトで販売しております。

<http://www.lubic.jp/>

*当WebサイトではLubicに関する話題や情報も発信しています。お暇な時にご高覧ください。

【お問い合わせ】

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1 豊栄ビル 5 階

KAIREN CORP.「サポートデスク」

TEL:04-2928-6836 FAX:04-2929-6297

e-mail : support@lubic.jp

【主な仕様】

BasicNE	アセンブリパーツ検査台
外形寸法	288mm (D) / 384mm (W) / 224mm (H) (作成例の場合)
＜免責事項＞ 本製品は細心の注意を払い、製作しておりますが、極稀に目立たない傷がついている場合があります。 機能に影響しない程度の傷は保証対象外とさせて頂いております。	

【組立て前の注意】

- 組み立てる前に説明書(本書)をよく読みましょう。
- 内容物がすべてそろっているかを事前に確認ください。
(別紙の内容物一覧表をご参照ください。もし内容物がそろっていないときは、上記の問合せ先までご連絡ください。)
- あらかじめアクリルパネルに固定用金具を取付けて M/B の装着面をご確認ください。

【組立て作業時の注意】

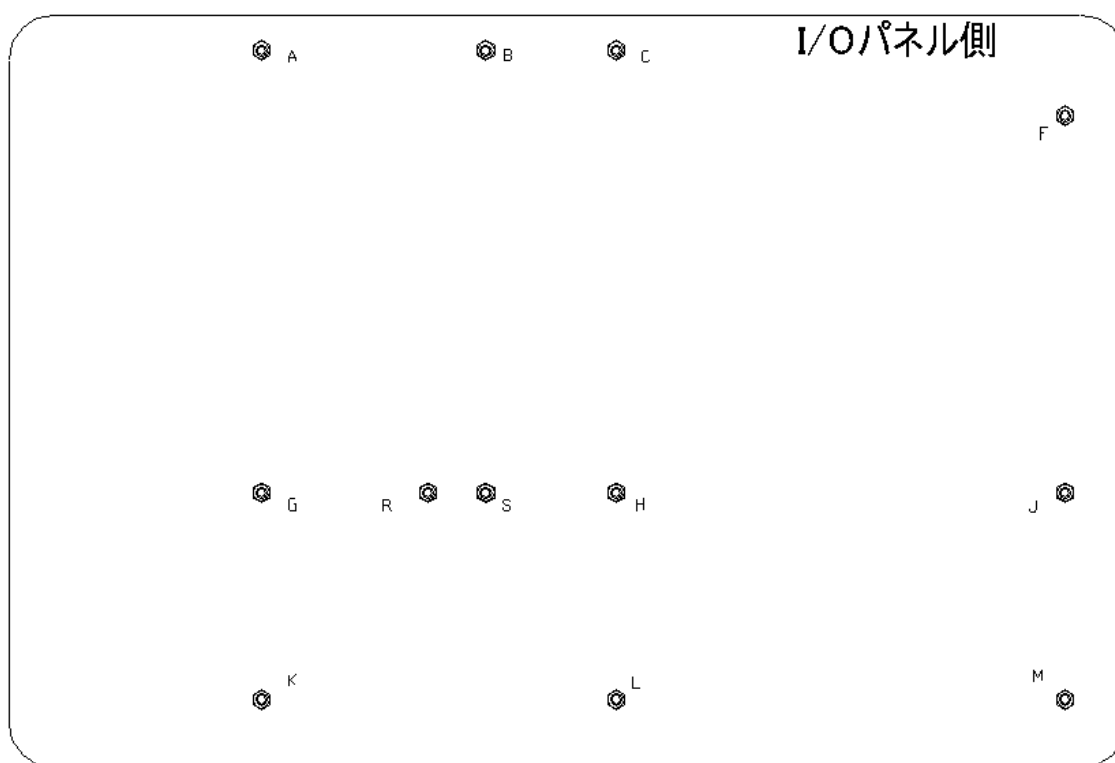
- 水平かつ安定した場所で組立てをおこなってください。
- けがやアクリルパネルの汚れを防ぐために手袋をつけた作業を推奨いたします。
- 組み立ては説明書の手順通りに行ってください。無理な組み立ては、破損や事故の原因となります。
- フレーム等の金物でまわりの家具に傷がつかないようにご注意ください。
- BasicNE の組み立てには、プラスドライバーが別途必要になります。
- BasicNE の内容物は、本書の作業手順に基づいて完成する構成になっています。
異なる手順・拡張・改造を行った場合、全てお客様の自己責任となり、当社ではサポート致しかねます。
- 金具やアクリルパネルには保護フィルムが貼られています。剥がしてからご使用ください。
- フレーム、金具、アクリルパネル同士の接触は極力避けてください。傷や汚損の原因となります。
- 「ACMB-AO」は ATX、MicroATX、FlexATX 規格の専用アイテムです。異なる規格のマザーボードは対応していません。
- 作業後の工具類や余った部品は、幼児の手が届かない場所に保管してください。

[最初の作業]

ACMB-AO(M/B 固定用アクリルパネル)は輸送中の事故を防ぐため、金属スペーサ(MSC27M3M3)を取り外した状態で梱包しています。

最初にパネルを金属スペーサと固定用ネジ(SC8M3)で挟むように取り付けてください。

M/B は金属スペーサにのせて M/B 固定用ネジ(SC6M3)で装着します。



※アクリルパネルには保護シールが張られていますので、剥がしてから装着してください。

※マザーボードをアクリルパネル上に重ね、金属スペーサと M/B のネジ穴の位置をご確認ください。

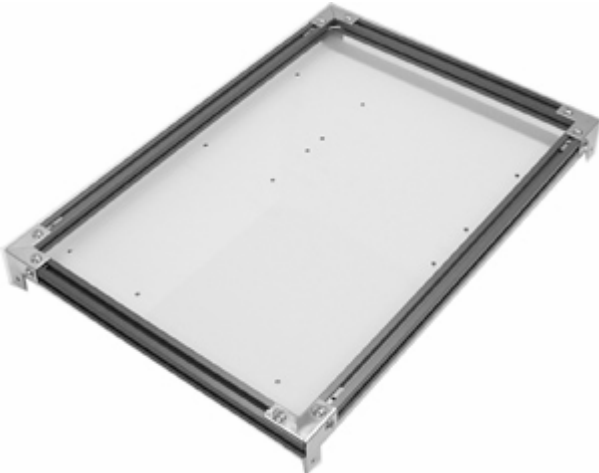
[スライドについて]

スライド(LUBIC-3S)は、お好みの位置にネジ穴を配置できる座金です。金具などの固定は次の手順で行います。

ルービックを組み立てる上で基本動作となります。

	
スライドをフレームの溝に挿入します。	金具をねじ(SC6M4)で固定します。 このときスライドのねじ穴と位置を揃えます。

この章は、ACMB-AO(アクリルパネル)をつかった天板の作成方法を解説します。

Aタイプ:アクリルパネル固定タイプ	Bタイプ:アクリルパネルスライドタイプ
	

上記の A、B タイプの 2 面を組み合わせることで、次の 3 パターンの組み立てが可能です。

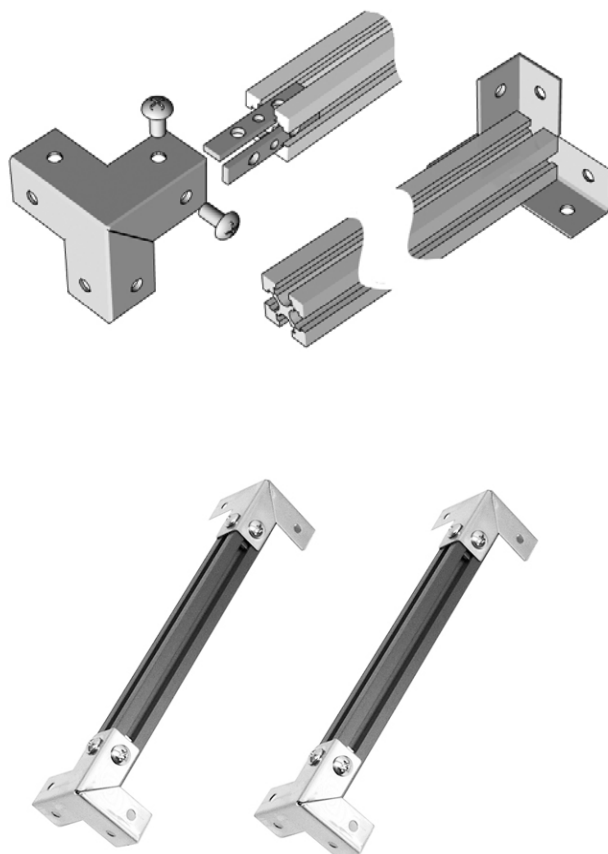
「Standard タイプ」	「Removable M/B タイプ」	「Dual M/B タイプ」
A+A	A+B	B+B
		
A+A タイプで制作したものです。 アクリルパネルの四辺をフレームで囲い、固定しました。入れ替えが必要のない方におすすめします。	A+B タイプでマザーボードの抜き差しが可能になります。Basic シリーズのポピュラーな制作パターンです。マザーボードの入れ替えが容易なので、メンテナンス性重視の方におすすめします。	パワーユーザー向けの両面マザーボードです。B+B タイプで制作しました。せまい場所で2台の PC を利用する場合に最適です。 ※2枚のマザーボードをご使用の場合、スイッチ「LUBIC-SWR2」が別途必要になります。

【天板作成の流れ】

1. 面の制作準備として、384mmフレームにCAP、CAP-EXを取付けます。
2. 1.で作成したCAP付き 384mmフレーム、CAP-EX付き 384mmフレームと256mmフレームを結合します。
3. 面を完成させます。
4. 作成した面を連結して立体を構成します。

[Step1-1 作業内容:384mm フレームに CAP を取り付ける]

【使用部品】・384mm フレームx2 本 ・CAPx4 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x8 個



[Step1-1]

384mm フレームに左図のように「3S」を挿入します。

「CAP」の奥まで 384mm フレームを当てこんで「SC6M4 ネジ」で留めます。

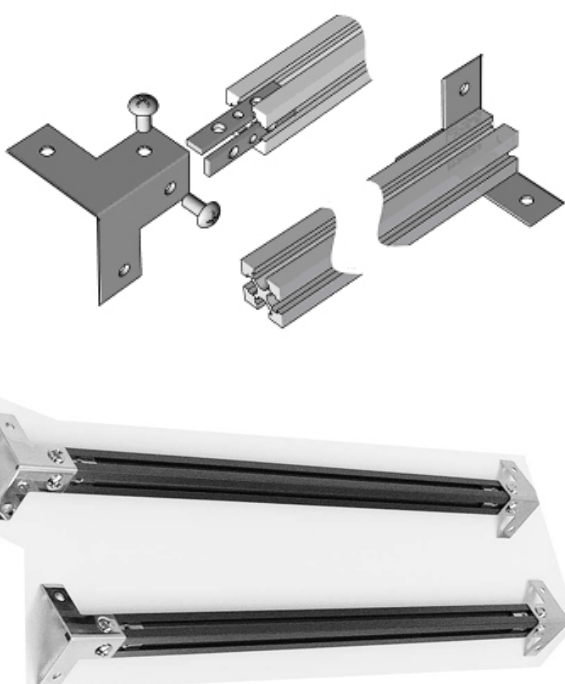
※ CAP の切れ込みが同じ面にそろうようにし留めてください。後の作業でケース上面を向きます。(左図参照)

384mm フレームの両端に「CAP」を取付けます。

同じものを 2 組作成します。

[Step1-2 作業内容:384mm フレームに CAP-EX を取り付ける。]

【使用部品】・384mm フレームx2 本 ・CAP-Exx4 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x8 個



[Step1-2]

384mmフレームのレールに3Sを 2 個差し込みます。

「CAP-EX」の取付ける場所を決定します。

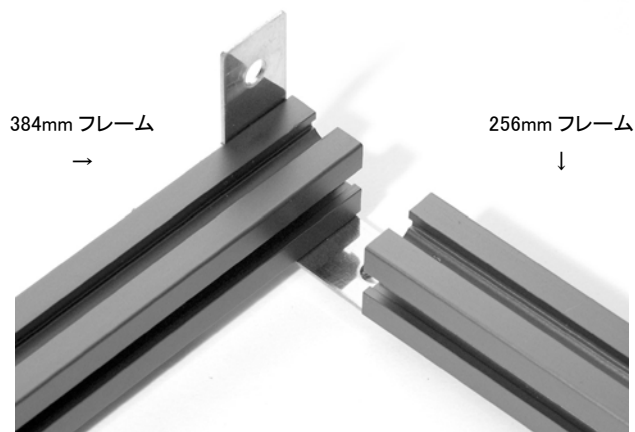
フレームの端とCAP-EXの端が合うようにSC6M4で固定します。
3Sがフレームからはみ出さないよう取付けます。

同じように 384mm フレームの両端に「CAP-EX」を取付けます。

同じものを 2 組作成します。

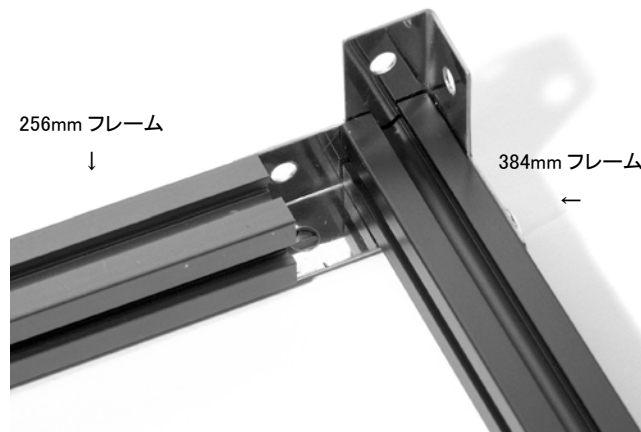
[Step2 作業内容:アクリルをスライドさせない面の作成 -【Aタイプ】の製作-]

【使用部品】・CAP-EX 付 384mm フレームx1 本 ・CAP 付 384mm フレームx1 本 ・256mm フレーム x2 本
 ・ACMB-AOx1 枚 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個



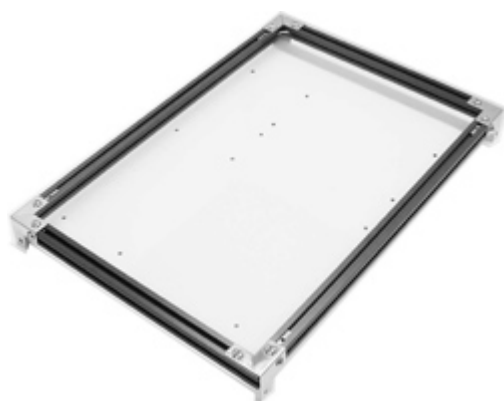
[Step2-1]

CAP-EX付384mmフレームと256mmフレームを3Sで接続しSC6M4で固定します。
 もう一方も同様に製作します。



[Step2-2]

CAP付384mmフレームと256mmフレームを3Sで接続しSC6M4で固定します。
 もう一方の端も同様に製作します。



[完 成]

384mmフレームと256mmフレームの溝にACMB-AOをいれ、四隅を固定すれば完成です。
 ACP-A3が完全に固定された面が出来上がります。
 製作した面を今後【Aタイプ】と呼称し説明します。

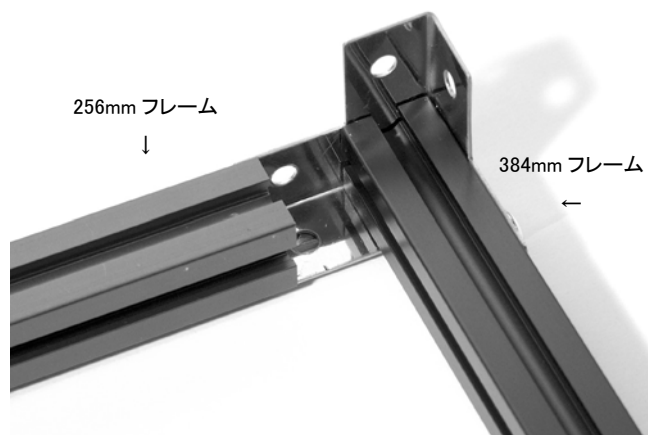


[補 足]

【Aタイプ】を 2 枚作成すると、巻末【完成例】の「Standard タイプ」が完成します。

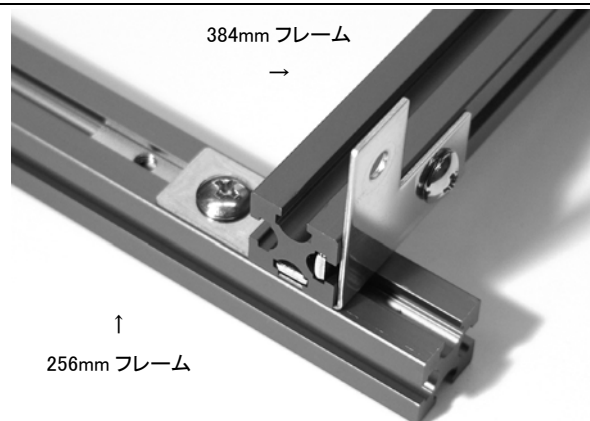
[Step3 作業内容:アクリルをスライドさせる面の作成 -【B タイプ】の製作-]

【使用部品】・CAP-EX 付 384mm フレームx1 本 ・CAP 付 384mm フレームx1 本 ・256mm フレーム x2 本
・ACMB-AOx1 枚 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個



[Step3-1]

CAP付384mmフレームと256mmフレームを3Sで接続しSC6M4で固定します。
もう一方も同様に製作します。



[Step3-2]

CAP-EX付384mmフレームを[Step3-1]で作成したものと接続します。この時、「**段差**」をつけて接続します。写真のようにフレーム一本分のスペースを空けておきます。
もう一方の端も同様に製作します。



[完 成]

四隅が固定されていますが、段差があるためACMV-AOが抜き差し出来るようになっています。
製作した面を今後【B タイプ】と呼称し説明します



[補 足]

【B タイプ】を2枚作成すると、巻末【完成例】の「Dual M/B タイプ」が完成します。

[Step4 作業内容:160mm フレームで高さを作る]

【使用部品】・A または B タイプ x1 面 ・192mm フレーム x4 本 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個



[Step4-1] (写真はAタイプですが、Bタイプでも同様です。)

制作した1面、AまたはBタイプを底面とし、四隅のCAPとCAP-EXに192mmフレームを固定していきます。



[完 成]

全ての四隅に192mmフレームを固定したら完成です。

[Step5 作業内容:立方体を製作し、完成させる]

【使用部品】・A または B タイプ x1 面 ・192mm フレームで高さを作った面 ・SWR2x1 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x6 個 ・SC6M3x2 個



[完 成]

先程の[作業内容:192mm フレームで高さを作る]で作成した面の上に、残りの面を被せます。

任意の場所にスイッチを取り付け、四隅を3SとSC6M4で固定し完成です。

写真の様に A + B タイプで巻末【完成例】の「Removable M/B タイプ」が完成です。

【 完 成 例 】



「Removable M/B タイプ」

A+B タイプでマザーボードの抜き差しが可能です。Basic シリーズのポピュラーな制作パターンです。

マザーボードの入れ替えが容易で、メンテナンス性重視の方におすすめします。



「Standard タイプ」

A+A タイプで制作したものです。

アクリルパネルの四辺をフレームで囲い、固定しました。

入れ替えが必要のない方におすすめします。



「Dual M/B タイプ」

パワーユーザー向けの両面マザーボードです。B+B タイプで制作しました。

せまい場所で複数台のPCを利用する場合等に威力を発揮します。

※2 枚のマザーボードを同時に起動する場合、スイッチ「LUBIC-SWR2」が別途必要になります。

『 BasicNE 』 組立説明書

2006 年 12 月 改定

発行 有限会社 海連

©2006 KAIREN Co.Ltd.,All rights reserved.

問合せ先 : 有限会社 海連

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1

TEL. 04-2928-6836 FAX. 04-2929-6297 E-MAIL. staff@lubic.jp